

平成二十九年学力検査

全日制課程 B

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(8)ページまであります。(8)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

国語

一次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

2 1

著作権に配慮して掲載を控えています

5 4 3

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して  
掲載を控えています

(梅棹忠夫『知的生産の技術』による)

(注)

- 1と8は段落符号である。
- 博覧強記に広く書物を読み、ものごとをよく覚えていること。
- なんでもかでも何でものようなものも全て。
- 体系的に一定の原理に基づいて全体が組織されているさま。
- UDCに国際的な図書分類法の一つ。
- 判型に書物の大きさ。

(一) ① にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア つまり      イ だから      ウ しかし      エ それとも

(二) ② 「遺産」の山を、なすすべもなくかかえこんでいるとはどういう

ことか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 幼い頃から大事に保存してきたものに対して、今もこの上なく愛着をもっているということ

イ 子どもにとつての宝物を、大人がガラクタ同然であると考えるのは仕方がないと諦めているということ

ウ 自分が大事に残してきたものに価値がないことがわかり、落ち込んでいるということ

エ あまり価値があるとは思われないものまでも大事に保存しており、片付けられずにいるということ

(三) 第三段落が本文中で果たしている役割についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第二段落をうけて筆者の学生時代の経験を紹介し、その頃に教えられた書類整理法を述べた第四段落以降につなげている。

イ 第二段落に続いて筆者の経験を述べ、その経験を通して発見した整理の基本原則をまとめた第四段落以降につなげている。

ウ 第二段落とは対照的な筆者の成功体験を述べ、整理に関する具体的な実例を集めて紹介した第四段落以降につなげている。

エ 第二段落とは異なる失敗談を紹介し、筆者自身がたどってきた整理法の歴史をふりかえる第四段落以降につなげている。

(四) からウまでのの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 時間      イ 記録      ウ 歴史      エ 社会

オ 機能      カ 知識      キ 形式      ク 自然

(五) 次の文章は、第五段落以降に述べられている整理の諸原則についてある生徒がまとめたものであるが、内容や表現に適切でない部分がある。それらを最も確に指摘しているものを、A群及びB群のAからEまでのの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

整理するとき、第一に重要なものは、ものの置き場所が決定されていることである。場所の次は、置きかたの問題で、とくに本や書類は横に重ねてはいけない。つまり、取り出したあととは必ずもとの位置に戻すという原則がある。これを厳格に実行できるかどうか、整理がうまくいくかどうかのきめ手である。

A群

ア 分類システムを用いてできるだけきれいに整頓するという原則が抜けている。

イ ひもでくくったり糸でとじたりする方法によって分類するという原則が抜けている。

ウ 本居宣長のようにものの置き場所を記憶するという原則が抜けている。

エ 置き場所のきめかたは体系的でなければならないという原則が抜けている。

B群

ア 接続語の使い方が適切でない。

イ 指示語の指示している内容が明確でない。

ウ 主語と述語がうまく対応していない。

エ 副詞をそれに対応する語で受けていない。

(六) ⑤ 必要に<sup>⑤</sup>応じて、過去を現在によびおこす とはどうか。それをわかりやすく述べている部分を、第四段落の文章中から二十字程度で抜き出して、始めの五字を書きなさい。

二 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 企画の趣旨を参加者にわかりやすく説明する。

② 頼まれた仕事をコロコロよく引き受ける。

(二) 次の③の文中の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

③ 窓をカイホウし、室内に爽やかな風を呼び込む。

ア 彼はホウヨウ力があり、友人からの信頼も厚い。

イ 茶道ではそれぞれの流派によってサホウが異なる。

ウ 試合の様子が生中継でホウエイされた。

エ 首相は外交のため、各国をレキホウしている。

2

1

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

著作権に配慮して掲載を控えています

4

②

3

著作権に配慮して掲載を控えています

## 著作権に配慮して掲載を控えています

(今井むつみ『学びとは何か——〔探究人〕になるために』による)

(注) ○ 1 5は段落符号である。

○ デザイン || 構想。計画。

○ プロセス || 過程。

○ 言説 || ことばにして表された考え。

○ バックボーン || ここでは、中心的な要素のこと。

- 吟味 || 詳しく調べて確かめること。
- コイントス || ここでは、偶然性に頼った物事の決定方法のこと。
- スキーマ || ここでは、既に身に付けている知識や枠組みのこと。
- 一手 || 将棋で、駒を一回動かすこと。
- 精緻な || 細かなところまで行き届いているさま。
- ニュートン || イギリスの物理学者・天文学者・数学者。
- ケプラー || ドイツの天文学者。 ○ モニター || 監視すること。
- 対局 || 盤に向かい合って対戦すること。

- (一) 筆者が考える 科学を学習する目的 <sup>①</sup> の説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。
- ア 科学的な事実にもとづき、新しい法則を発見できるようにすること
- イ 論理の組み立て方を身に付け、科学的思考ができるようになること
- ウ 実験のスキルを高め、データを正確に分析できるようにすること
- エ 直観を排除し、感情にとらわれない思考ができるようになること
- (二) この矛盾 <sup>②</sup> の説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。
- ア 熟達者になるためには直観的思考が不可欠であるが、最近では直観的思考を軽視する人が多くなっていること
- イ 最近の科学の世界では批判的思考が最も重要視されているが、学びの達人は直観に頼っているということ
- ウ 批判的思考は直観から生まれるものだが、学びの達人は批判的思考から直観が生まれると考えていること
- エ 批判的思考と直観的思考は相反するものと考えられているが、熟達者は両方の思考を備えているということ

(三) ③ 熟達した科学者の直観がモノをいうとあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 仮説にもとづいて新しい理論を構築する際には、科学者の専門分野外の知識から得られる直観が効果的であるということ

イ 批判的思考により仮説を検証する際には、経験豊富な科学者のみ  
がもつ精度の高い直観が必要とされるということ

ウ 理論構築の出発点となる仮説をつくる際には、科学者の豊富で精緻な知識にもとづく鋭い直観が役立つということ

エ 批判的思考にもとづいて構築された理論を検証する際には、柔軟な発想ができる科学者の直観が力を発揮するということ

(四) 筆者は第五段落で、直観力をさらに磨くために必要なことについて述べている。それを要約して、六十字以上七十字以下で書きなさい。ただし、「振り返る」、「熟慮」という二つのことばを使って、「直観力をさらに磨くには、……」という書き出しで書き、「……必要である。」で結ぶこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。また、「振り返る」は活用させた形でもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(五) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 子どもは、データをもとに論理を組み立てるスキルを学ぶことで、精度の高い科学実験ができるようになる。

イ 批判的思考は、仮説検証のプロセスと理論構築のプロセスを何度も繰り返して経験することで、身に付けることができる。

ウ 最近の教育界では、科学的思考や批判的思考が重視される傾向が強くなっており、ひらめきや直観的思考は軽視されている。

エ 直観的思考とは、知識の質や量にかかわらず、ひらめきによって精度の高い判断をする内面の働きのことである。

オ 大人は、実社会で瞬時に判断を迫られる場面に備え、できるだけ多くのことばを短期間で学習する能力が必要である。

※ 左の枠は、(四)の下書きに使ってもよろしい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

												直	観	力	を	さ	ら	に	磨	く	に
												は	,								

70 60



四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

哀公、孔子に問ひて曰はく、「寡人、吾が国小なれば而ち能く守り、

私は、国力が弱小のときには国防を行

大なれば則ち「①」と欲す。其の道如何。」と。孔子対へて曰は

その方法はどうかであろうか

く、「君の朝廷をして礼有りて、上下和親せしめば、天下の百姓は、

国内の全ての臣民を親しむようにさせれば 世の中の人民

皆君の民ならん。将た誰か之を攻めん。苟くも此の道に違はば、民畔

そうなたら

もしも 背く

くこと帰するが如し。皆君の讐なり。将た誰と与にか守らん。」と。公

敵である

曰はく、「善いかな。」と。是に於て山沢の禁を廃し、関市の税を弛め、

もつともだ

そこで 関所や市場

以て百姓に恵む。

（『孔子家語』による）

（注）○ 哀公Ⅱ魯の国の君主。

○ 孔子Ⅱ春秋時代の思想家。

○ 山沢の禁Ⅱ山川での狩猟や漁業の禁制。

(一) 「①」にあてはまる最も適当なことを、漢文（書き下し文）の中からそのまま抜き出して、三字で書きなさい。

(二) 此の道の説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 国内の政治争いをやめ、軍備を充実させて他国に攻め込むこと  
イ 内政を重視した政治を行い、国の経済を大きく発展させること  
ウ 身分制度を廃止し、国の内外から優秀な人材を登用すること  
エ 国内の秩序を保ち、全ての民が仲良く暮らせるようにすること

(三) 将た誰と与にか守らん とあるが、孔子がこのように述べた理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 民の心が君主から離れ、味方となる者がいなくなるから。  
イ 民の働く気力が失われ、国力が低下してしまうから。  
ウ 民が君主の敵となり、君主の命まで狙いはじめるから。  
エ 民が平和を求め、武器を手にして戦う者がいなくなるから。

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 小国が存続するためには、周囲の国との友好関係を築く必要がある。  
イ 小国が大国に対抗するには、軍備増強と国防に専念する必要がある。  
ウ 国を守り保っていくには、君主が民からの信頼を得る必要がある。  
エ 国の経済を発展させるには、民の自由な活動を認める必要がある。

（問題はこれで終わりです。）

解答用紙  
第一時限

全 日 制 課 程 B  
国 語

一	(一)			(二)			※一 1点×4 2点×2 <div style="border: 1px dashed black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>							
	(三)			(四)										
	(五)	③ (            )    ④ (            )		(六)										
	(四)	A群 (            )    B群 (            )												
	(三)													
	(二)													
二	(一)	①			②	く		※二 1点×3 <div style="border: 1px dashed black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>						
	(二)	③												
三	(一)			(二)			※三 1点×3 2点×2 <div style="border: 1px dashed black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>							
	(三)													
	(四)	は	、	直	観	力		を	さ	ら	に	磨	く	に
	(五)													
	(三)													
	(二)													
四	(一)			(二)			※四 1点×4 <div style="border: 1px dashed black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>							
	(三)			(四)										
	(一)													
	(二)													

受 検 番 号	第	番	得 点	※
---------	---	---	-----	---

(注) ※印欄には何も書かないこと。

一	(一)	ウ	(二)	エ	※一 1点×4 2点×2 <input type="text"/>	
	(三)	イ				
	(四)	③ ( オ ) ④ ( キ )				
	(五)	A群 ( エ ) B群 ( ア )				
	(六)	必要なもの				
二	(一)	① しゅし	② 快 く	※二 1点×3 <input type="text"/>		
	(二)	③ ウ				
三	(一)	イ	(二)	エ	※三 1点×3 2点×2 <input type="text"/>	
	(三)	ウ				
	(四)	直観力をささらに磨くには、直観に頼った判断や学習を振り返り、熟慮により修正を行うこととで、精緻な知識へと成長させることが必要である。	70	60		
	(五)	イ				
四	(一)	攻めん	(二)	エ	※四 1点×4 <input type="text"/>	
	(三)	ア	(四)	ウ		

受検番号	第	番	得点	※
------	---	---	----	---

(注) ※印欄には何も書かないこと。